

都部地区集落座談会 会議録

1. 会議名称 都部地区集落座談会
2. 開催日時 平成 31 年 3 月 25 日（月）午後 5 時から午後 6 時 30 分まで
3. 開催場所 都部集会所
4. 会議に出席した者の氏名

| | |
|----------|-----|
| 農業者 | 8 名 |
| 農業委員 | 2 名 |
| 東葛飾農業事務所 | 1 名 |
| 農業委員会事務局 | 1 名 |
| 農政課 | 3 名 |

5. 協議区域の範囲 都部集落及び都部新田集落
6. テーマ「今後の都部地区の農業のあり方について」
 - (1) 「人・農地プラン」とは
 - (2) 今後の都部地区の農業のあり方について
 - (3) 「農地中間管理機構」による協力金の活用について
 - (4) 「集落営農支援補助金」
 - (5) その他
7. 会議の内容

農政課から、配布資料を使い（1）～（3）までの説明を行った。また、東葛飾農業事務所が行ったアンケート調査の内容の説明を行った。アンケートを活用した話し合いを行うのも一つの手だと説明した。

続いて、（4）集落営農支援補助金の説明及び集落営農自体の説明を行った。

会議中の主な質疑応答は次のとおり。

農業者：農業委員〇〇氏は中里新田・日秀新田地区の担い手ではないのか。

農業委員：確かに日秀でも耕作しているが、そのほかも含めて現状 10ha ほど耕作している中で、面積としては現状でもいいと考えている。

農業者：今年△△氏が暗渠工事をたくさんやっているがこれは補助金が出ているのか。

農政課：県の耕作条件改善事業という補助事業でやっている。

農業者：この近辺で担い手は他にいないだろうか。

農業者：担い手や大きな農家は条件のいいところしかやってくれない。

農業者：都部の若手は〇〇氏ということになるだろう。

農業者：我孫子の米はカメムシにやられている米だと風評が流れている。

農政課：別の地区でもカメムシ被害の報告はいただいている。

農業者：去年は沼南でドローンの試験をやったらしい。

農政課：情報収集に努める。広いところはラジコンヘリのほうが効率的だとは思う。

農業委員：我孫子市が空中散布を避けていることをもっとアピールしたほうがいいと思う。売る立場としては一つのアピールポイントである。

農政課：我孫子エコ農産物はたしかに市として推している。

農業者：最近市内一部地域でヘリを飛ばしているところもあるらしいが。

農政課：個人で飛ばしている人もいると思う。

農政課：平飼い養鶏を始めたいという人がいるのだが、皆さんの意見を伺いたい。

農業者：匂いが気になる、対策をしっかりとってほしい。

農業者：そもそも 100 羽程度で採算がとれるのだろうか。

農政課：皆さんからの意見は本人に伝える。

農政課：今後もアンケートをとるなどして、話し合いを進めていきたいが、皆さんに後継者さんはいるのか。

農業者：子はあるが農業はやっていない。

農政課：離農は止められないだろうか。

農業者：そうだろう。

今後も地域の皆さんとの意見交換の場は設けたいということ伝えて、座談会は終了した。